



# 舎人公園 の セミハンドブック



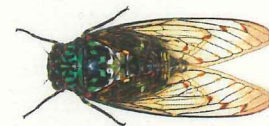
## どおり こうえん ○ 舎人公園にいるセミ

### ・アブラゼミ



大きさ 50mm  
鳴き始める時期 7月上旬  
夏になると各地でみることができる。  
名前の由来は油を熱した時の「ジー  
ーイ」という音に似ているから。

### ・ミンミンゼミ



大きさ 60mm  
鳴き始める時期 7月中旬  
アブラゼミに比べると自然度が高いと  
ころにいる。  
名前の由来は「ミンミンミン…」と鳴  
くところからきている。  
関西の方ではほとんど見ることができ  
ない

### ・ニイニイゼミ



大きさ 35mm  
鳴き始める時期 6月下旬  
平地でみられるセミでは最も早く梅雨  
の最中に羽化し、出てくる。  
名前の由来は「チー」「ジー」とい  
った鳴き声を繰り返し、「チー」という鳴  
き声が「ニイ」と聞こえたことからきて  
いる。

### ・ツクツクボウシ



大きさ 43mm  
鳴き始める時期 7月下旬  
自然度が高い(湿った土)の箇所で  
多く発生する。警戒心がとても高い  
ので捕まえるのが難しい。  
名前の由来は「ボーシ、ツクツクボー  
シ」と鳴くことからきている。

## ○ セミの幼虫について

おおきさ

やく  
約24mm・ニイニゼミ



・ツクツクボウシ



・アフラゼミ



・ミンミンゼミ



約36mm

- ・全体に泥をかぶっている
- ・他のセミに比べると小さく、まるっこい

- ・泥はほとんど付着しない
- ・つやがなくまっすぐ細長い

- ・抜け殻の色は濃い茶色
- ・触覚の第3節は第2節よりも長い

3せつめ 2せつめ



- ・触覚に毛が多く生えている
- ・触覚の第3節と第2節が同じ長さ

3せつめ 2せつめ



## ○ 何年土の中にいるの？

- ・近年、セミの幼虫が土の中で生活する期間は1～5年くらいとされています。
- ・一般的なアフラゼミやミンミンゼミは2～4年くらい土の中で暮らします。
- ・ツクツクボウシは1～2年、ニイニゼミは4～5年くらいといわれています。

## ○ セミの一生

たまご → 幼虫 → 成虫

- ・セミは卵から幼虫になりそのまま成虫になる、さなぎの時期がない昆虫です。

- ・産卵はセミの種類によって違うが、夏～晩夏にかけて卵を産む。

- ・孵化(卵から出てくること)の時期は種類によって違うが、

翌年の梅雨の土がやわらかくなっている時期に地面に潜る。

(ニイニゼミは6月下旬に産卵し、9月頃孵化する。)

- ・土の中では木の根から樹液を吸いゆっくりと成長する。

- ・複数回脱皮を繰り返し、大きく成長する。

(アフラゼミは5回といわれている。)

- ・羽化(飛ぶための翅が形成される脱皮)は梅雨の時期から梅雨明けにみられる。

- ・夏になり一斉に鳴き始める。

## ○ 幼虫の羽化の成功率

- ・成功率は半分以下...

セミの幼虫はとてもデリケートで、ちょっとしたことで死んでしまう。

1. 外敵の鳥、哺乳類、アリなどの昆虫に襲われてしまう。
2. 土から出て、移動するとき体力を使い果たしてしまう。
3. ちょっとした衝撃などのストレス。

## ○ セミの羽化を観察する

- ・ アブラゼミ、ミンミンゼミを羽化を観察するには…

セミの羽化は梅雨明けの7月上旬ごろから観察することができる。

日没(6時～9時ごろ)に土から出てきて、木や建物に上り羽化を始める。

羽化をはじめてから終わるまで2時間くらいかかるため、そっと見守ってあげよう。

### ☆ポイント

- ・ セミの幼虫が好きな場所は薄暗い樹林地
- ・ ケヤキやサクラの木が好き
- ・ 羽化する場所は大人の腰より下がほとんど

## ○ 自宅で観察する

- ・ 土から出てきたばかりの幼虫を捕まえたう…

1. なるべく握らず、揺るさないで、すぐに持ち帰る。
2. 握まりやすいところに(網戸など)に掴まらせてあげる。
3. 部屋を薄暗くする。(明るいときと勘違いして羽化しない)
4. 観察する部屋のエアコンなどは切る。(外との温度差が大きいと羽化しない)
5. 羽化をはじめてから翅の伸びるまで2時間くらいかかる。

注意: 野外で観察するときはお父さん、お母さんと一緒に、

しっかりした靴をはいて、虫よけスプレーをして観察しよう。

## ○ セミの寿命

- ・ アブラゼミの寿命は1週間といわれているが…

セミはカメムシの仲間で、口が針状になっている構造をしていて、

ご飯は樹液のみしか食べない、このため飼育することがとても難しく、1週間

くらいしか生きなかったことから寿命は1週間といわれていた。

- ・ 本当の寿命は1か月

天敵の鳥や哺乳類、スズメバチなどの肉食の昆虫に襲われることがなく

のんびり木にとまっていれば1か月以上も寿命があることが最近分かってきた。

しかし、ほとんどのセミは色々な原因で寿命まで生きることができない。

- ・ セミの死因

### ストレス

外敵に襲われたりすることにより、必死に飛んだり、人に捕まえられることに

より、体力を使い果たしたり、餌が食べられなくなったりするストレスで死んでしまう。

### ぶつかっただ時の衝撃

セミは大きく、重たいからだをもっているため、飛ぶことがとても苦手

な昆虫です。そのため木や建物にとまろうとしたときに、うまくとまれず

ぶつかってしまいそのまま死んでしまうセミもいる。

## ○ 夜にセミの鳴き声が聞こえる？

- 最近、セミが夜に鳴くことがあるが本来、日本のセミは日の出ている朝方から

夕方にかけて、求愛のために行動している。

セミが鳴くためには、気温と明るさが大きく関係しているが、都心では、町の

街灯、ネオンの明るさ、気温の下がらないヒートアイランド現象や熱帯夜が

関係しているのではないかと考えられている。

- 海外では夜に行動するセミもいる。セミはカメムシの仲間でカメムシの

仲間には夜行性のものが多い。また夜間行動することで外敵に襲われ

ないようにしている。



公益財団法人 東京都公園協会  
Tokyo Metropolitan Park Association

舎人公園サービスセンター  
Toneri Park Service Center

注意：このハンドブックは舎人公園でみられるセミを基準に作成しています。